

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 海津明誠高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月11日(木) 14:15~16:30
- 3 開催場所 海津明誠高等学校 大会議室

- 4 参加者
会長 後藤 純二 関係機関
副会長 藤井 えりの 関係機関
委員 安立 顕 関係機関
山田 千彩 関係機関
丹羽 雅子 保護者代表
水谷 郁雄 地域代表
山崎 賢二 関係機関(欠席)

学校側	向田 富紀子	校長
	水野 裕子	教頭
	戸田 京介	教頭
	篠田 和宏	事務長
	串戸 正一	教務主任
	西科 恵介	進路指導主事
	久保田 和友	生徒指導主事
	野田 賢治	特別活動担当
	新川 篤弘	商業科主任(欠席)
	酒井 美也	生活産業科主任

- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 本校の現況について
 - (2) 授業参観及び校舎施設見学
 - (3) 生徒による学校紹介・説明
 - (4) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画について
 - (5) 意見交流

- 意見 1 : 総合探究「SKGs」活動については、事前の役割分担なども含め生徒自身で企画、運営、修正などのサイクルを通じて探究が進むように期待したい。地域を巻き込むにあたっては SNS などのツールを利用して効果的な発信を期待する。
- 意見 2 : すべてのクラスの生徒も表情がよく、真剣な取り組みが印象的であった。子供の人数が少ないことは、一人ひとりにきめ細やかな対応ができるのでありがたい。来年度の公営塾の取り組みも含めて、魅力を感じる。
- 意見 3 : いじめ問題においては、生徒と教員の立場の相違によって、価値観等ズレが生じる可能性があるため、まずは生徒の立場に立って教員が相談対応することを望む。
- 意見 4 : 少人数が良い…という意見もあったが、人数が少ないと学習活動、部活動など学校に活気や切磋琢磨する機会の減少など負の要素も多くなる。人数が少ない現状は海津明誠にとって喫緊の課題である。広報宣伝として、Instagram の活用についてはセキュリティ面の不安もあるが上手な生徒に任せるなど柔軟な発想も期待する。
- 意見 5 : 相談件数が多いことはよいことだと思う。相談がないことよりも、相談数が多いことは学校にとってよいことだ。遅刻指導も心のことを配慮しながら、対応しているので学校の姿勢がよい。加えて、本校の広報活動は、公営塾も含めて学校 PR を楽しみにしている。
- 意見 6 : 本校は少子化、偏差値、立地等を踏まえて、実際の良さがもっと伝わってもよいのではないかと。大学生も同様に、主体性や経験値の課題が高校と同じである。
10年前の学生と現在の学生では、主体性のあり方が異なっている。大学も、生徒の取り組みをじっと見守り、その経験値を育てる難しさがある。ゼミや課外活動で人との関わりの経験値を増やし、それと連動する自尊感情を育てる大切さを認識している。本校も学校教育の中で、前述の大切さを認識しながら、丁寧に教育活動を行っている。今後は、効率的な広報活動が大切になってくるであろう。
- 意見 7 : 本校の生徒と、とても近くに接して活動をしている。
本校の生徒には、海津夏祭り、感謝祭等、中学生のボランティア活動として約 100 名の協力を得ている。その中で主体性が育つように接している。受付や販売など、時には、理想的な姿に照らし合わせて指導することもあるが長い目で見守りながらボランティア活動を通じて大人社会のルールも学んでもらっている。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。会議の意見等を今後の学校経営に活かしていきたい。